

2016年5月29日

「マンガと戦争展」関連資料出展一覧

イトウユウ／雑賀忠宏

★資料名 *…キャプション化しない	ページ数等	コメント	所蔵
原爆			
はだしのゲン			
『週刊少年ジャンプ』1973年25号、集英社、1973年	表紙 pp.2-3	「はだしのゲン」連載開始号。	閉架:25013995 イトウ私物
『市民』1976年5・6月号、『市民』編集委員会、1976年	pp.144-145	「ゲン」はその後、複数の雑誌をまたいで連載された。	イトウ私物
中沢啓治「何かが起きる！」『週刊少年ジャンプ』1970年34号、集英社、1970年	pp.294-295	「はだしのゲン」が連載される数年前に掲載された、被爆者の悲劇を描く読み切り。	閉架:25013902
夏の残像			
巴里夫「赤いリュックサック」『赤いリュックサック』集英社、1974年	表紙※カバーを別の本に巻く／pp.62-63	西岡が影響を受けたという作品。満州引き上げの悲劇を描く。	閉架:15024240
巴里夫「疎開っ子数え唄」『りぼん』1973年9月号、集英社、1973年	pp.344-345	「赤いリュックサック」が好評だったために描かれた作品。	閉架:20002929
川崎のぼる「黙禱」『ビッグゴールド』NO.5、小学館、1980年	pp.324-325	「巨人の星」の作画者による、ナガサキをテーマにした読み切り作品。	閉架:20009857
夕凧の街			
---	---	少女マンガには難病をテーマにした作品が伝統的に少なくない。「原爆症」をテーマにした作品も少女マンガ誌に掲載されたものが多い。	---
白土三平『消え行く少女』日本漫画社、1959年(小学館クリエイティブ、2009年)	pp.4-5	---	閉架:15024855
もりたじゅん『あした青春!』(『りぼん』1978年9月号付録)集英社、1978年	pp.42-43	---	閉架:50009454
赤塚不二夫『九平とねえちゃん』(『りぼん』1966年4月号付録)集英社、1966年	pp.98-99	---	閉架:50007844
木内千鶴子「今日もあすも生きる」『別冊マーガレット』1968年8月号、集英社、1968年	pp.156-157	---	閉架:25016164
地獄			
---	---	人間の本質をえぐるような辰巳の作品は、早くから欧米において、一種の「文学」として、高い評価を受け続け	---
HIROSHIMA, Artefact, 1983	pp.30-31	人間の本質をえぐるような辰巳の作品は、早くから欧米において、一種の「文学」として、高い評価を受け続け	閉架:40017842

Infierno, Ediciones La Cúpula, 2004	pp.60-61		閉架:40010443
特攻 音速雷撃隊			
『飛行少年』1943年8月号、大日本飛行協会、1943年	pp.11-12	戦時中の少年向け雑誌。戦闘機の詳細情報だけでなく、航空隊員養成所の写真グラビアや模型飛行機コンテ	イトウ私物
「B-29対日本の戦闘機」『週刊少年サンデー』1962年43号、小学館、1962年	pp.8-9	60年代を通して、少年誌の表紙や巻頭グラビアには、兵器の情報が満載だった。	閉架:25013671
『週刊少年サンデー』1962年27号、小学館、1962年	表紙	---	閉架:25012246
『週刊少年マガジン』1963年22号、講談社、1963	表紙	---	閉架:25013423
君死に給うことなかれ			
土屋由岐雄・文、武部本一郎・絵『かわいそうなぞう』金の星社、1970年	表紙	実話を元にした童話「かわいそうなぞう」は教科書にも採用されているが、学校図書館に置かれた「はだしのゲン」がそうであるように、学校教育においてはしばしば、「ドラマ(文学性)」以上に「戦争(歴史的事実)」が重視	こども図書館:黄色C1
さわさかえ・作、吉森みきお・画「花子よ永遠に——」『りぼん』1968年8月号付録、集英社、	pp.118-119	---	閉架:50001112
藤子・F・不二雄「ぞうとおじさん」『ドラえもん』第5巻、小学館、1974年	pp.174-175	---	閉架:10054977
北川玲子「かわいそうなゾウ」『まんがで読む戦争悲話 戦火の中の子どもたち』ぶんか社、	pp.142-143	---	吉村私物
積乱雲			
里中満智子「積乱雲」『波乱万丈の女たち』2014年9月号、ぶんか社、2014年	pp.120-121	「積乱雲」が再録された『波乱万丈の女たち』誌。「日本を守った女たち」	吉村和真私物
曾根富美子「広島のおばちゃん」『増刊あなたが体験した怖い話 波乱万丈の女たち』25号、ぶんか社、2005年	pp.140-141	女性向け「コンビニ誌」では、愛と残酷のドラマにあふれた状況として、しばしば戦争がテーマとして取り上げら	吉村和真私物
安武わたる「原爆乙女」『月刊ほんとうに怖い童話』2008年9月号、ぶんか社、2008年	pp.362-363	---	イトウ私物
ゼロの白鷹			
---	---	50年代～60年代には、少年戦闘機乗りを主人公にしたマンガ作品があふれていた。	---
辻なおき「0戦はやと」『週刊少年キング』1964年30号、少年画報社、1964年	表紙	---	閉架:25004286
相良俊輔・作、園田光慶「あかつき戦闘隊」『週刊少年サンデー』1967年46号、小学館、1967年	pp.20-21	---	閉架:25013764

ちばてつや「紫電改のタカ」『週刊少年マガジン』1963年36号、講談社、1963年	pp.12-13	---	閉架:25013435
日吉まるお「はやぶさ天兵」『野球少年』1957年9月号付録、芳文社、1957年	表紙	---	イトウ私物
わち・さんぺい「とらの子兵長」『少年画報』1957年10月号付録、少年画報社、1957年	表紙	---	イトウ私物
高野よして「翼よ夕やけだ!!」『小学5年生』1958年10月号、小学館、1958年	表紙	---	イトウ私物
関谷ひさし「われは空の子」『冒険王』1958年1月号付録、秋田書店、1958年	表紙	---	イトウ私物
わち・さんぺい「空の3軍曹」『少年』1963年2月号付録、光文社、1963年	表紙	---	イトウ私物
木村光久「ゼロ戦特攻隊」『ぼくら』1963年12月号付録、講談社、1963年	表紙	---	イトウ私物
辻なおき「0戦太郎」『少年画報』1964年1月号付録、少年画報社、1964年	表紙	---	イトウ私物
マンガの役割			
戦争論			
『わしズム』2009年冬号、小学館、2009年	手に取れるようにする	小林が責任編集長を務める「漫画と思想で日本を束ねる知的エンターテインメント誌」。本号では、この史代が、『夕凧の街 桜の国』のインタビューを受けるというマンガ作品も掲	閉架:50002770
---	---	マンガから言論や学術研究に歩み寄る小林の仕事は、学術的な方法論でマンガに近付こうとする「マンガ評論」や「マンガ研究」と対であるべきかもし	---
* 福間良明／吉村和真／山口誠・編著『複数のヒロシマ 記憶の戦後史とメディアの力学』青弓社、2012年	手に取れるようにする	---	閉架:未登録
* 『貸本マンガ史研究』第23号、貸本マンガ史研究会、2014年	手に取れるようにする	---	閉架:未登録
* 吉村和真／福間良明『「はだしのゲン」がいた風景 マンガ・戦争・記憶』梓出版、2006年	手に取れるようにする	---	閲覧室:10056879
* 『マンガ研究』VOL.8、日本マンガ学会、2005年	手に取れるようにする	---	閲覧室:50003145
* 夏目房之介『マンガと「戦争」』講談社、1997年	手に取れるようにする	---	閲覧室:10056677
日本史まんが年表			
『小学館版 学習まんが 少年少女日本の歴史』第20巻、小学館、1995年	pp.58-59	---	イトウ私物

『学習漫画 日本の歴史』第18巻、集英社、1998	pp.136-137	---	イトウ私物
『まんがで学習 日本の歴史』第5巻、成美堂出版、2003年	pp.154-155	---	イトウ私物
『学習漫画 日本の歴史』第17巻、集英社、1982	pp.126-127	---	イトウ私物
『学研まんが NEW日本の歴史』第11巻、学習研究出版、2012年	pp.108-109	近年の学習マンガは、キャラクターの描き方やコマ割りの仕方など、最近の娯楽マンガの手法をより取り入れるようになっている。	イトウ私物

神風特別攻撃隊

---	---	「劇画」というスタイルを生んだ「貸本マンガ」において、「戦記もの」はひとつの大きなジャンルだった。いずれも1960年代半ば頃のもの。	
* 川田漫一『挑戦大空無頼』文華書房	表紙	---	閉架:未登録
* ヒモトタロウほか『日本戦闘史 陸海空』文華書房	表紙	---	閉架:未登録
* ヒモトタロウ『第二次世界大戦血沸き肉踊る戦闘機』文華書房	表紙	---	閉架:未登録
* ヒモトタロウ『第二次世界大戦 決戦マレー沖』曙出版	表紙	---	閉架:未登録
* ヒモトタロウ『零戦太郎 無敵三匹の侍』文華書房	表紙	---	閉架:未登録
* 『戦記画報 別冊2』曙出版	表紙	---	イトウ私物
* 『戦記画報 別冊7』曙出版	表紙	---	イトウ私物

永遠の0

高岡修『新編 知覧特別攻撃隊』ジャプラン、2010年	表紙	---	吉村和真私物
---	---	特攻隊の若者たちが死を選んだ理由は永遠の謎だ。後の作家たちは、そこに現代的な解釈を与えることで、物語とメッセージを生み出す。	---
鈴原研一郎「ああ広島に花さけど」後編『週刊マーガレット』1969年34号、集英社、1969年	pp.226-227	---	閉架:20018227
小山田いく「命散った空」『教科書が教えてくれない戦争の真実』ぶんか社、2008年	pp.194-195	---	吉村和真私物
渡辺保裕「蛍よ帰れ 宮川三郎軍曹」『実録 神風特別攻撃隊 完全版』竹書房、2010年	pp.106-107	---	吉村和真私物

満州

のらくろ探検隊

『少年倶楽部』1940年2月号、大日本雄弁会講談社、1940年		---	閉架:19400201
---------------------------------	--	-----	-------------

『少年倶楽部』1933年2月号、大日本雄弁会講談社、1933年	---	研究閲覧室: 50003101
『少年倶楽部』1933年3月号、大日本雄弁会講談社、1933年	---	研究閲覧室: 50003101
『少年倶楽部』1933年1月号、大日本雄弁会講談社、1933年	『少年倶楽部』の読者コーナー。満州からも便りが寄せられている。	研究閲覧室: 50003101
原作:田河水泡 作画:村田安司 アニメーション映画『のらくろ二等兵 教練の巻』(フィルム) 1933年	子どもたちに絶大な人気を誇った「のらくろ」は、本作のほか『のらくろ伍長』『のらくろ少尉 日曜日の怪事件』など、ユーモラスな短編アニメーション映画にもなっている。	
下川凹天「男やもめの巖さん」『別冊1億人の昭和史 昭和新聞漫画史』、毎日新聞社、1981年	下川凹天の4コママンガ「男やもめの巖さん」に描かれた、満州へ渡る人々。満州への移住は身近な出来事であったことがうかがえる。	研究閲覧室: 50004338
家路1945～2003		
中国引揚げ漫画家の会『少年たちの記憶 中国からの引き揚げ』ミナトレナトス、2002年	満州育ちのマンガ家たちが作る「中国引揚げ漫画家の会」は自伝作品集の出版や展覧会など、その記憶の語り継ぎを続けている。	閉架:50002194
森田拳次『マンガ・ぼくの満州』晩成書房、2001年		閉架:10090390 閉架:10090391
里中満智子『あした輝く』講談社コミックスフレンド、1974年	里中満智子は「あした輝く」で満州引揚げを描くにあたって、ちばの引揚げ体験に取材した。それが作中のエピソードにも活かされている。	閉架:10010242
里中満智子「あした輝く」『月刊少女フレンド』1月1日号、1973年		閉架:20000650
『ビッグコミック』2003年10月25日号、小学館、2003年	---	閉架:25000093
フィチン再見!		
『少年倶楽部』1933年6月号、大日本雄弁会講談社、1933年[復刻版]	昭和初期、移民や開拓団として多くの人が日本国外へと渡っていった。	閉架:50003102
村上もとか「龍-RON-」『ビッグコミックオリジナル』2005年10月20日号、小学館、2005年	村上の前作「龍-RON-」。物語の終盤、主人公・龍は列強諸国、そして満州国をめぐる暗闘へ関わっていく。	閉架:20010943
村上もとか「龍-RON-」『ビッグコミックオリジナル』2003年8月20日号、小学館、2003年		閉架:20013683
林田正「ほがらか王君」『少年倶楽部』1940年8月号、大日本雄弁会講談社、1940年	戦時中も、満州を舞台にした牧歌的なマンガや小説が子ども雑誌の誌面を飾っていた。	閉架:25018739
上田とし子『フィチンさん ぼっちゃんのお相手の巻』、講談社漫画文庫、1976年	---	閉架:15004700
上田とし子『フィチンさん 黒ゆりの花をさがせの巻』、講談社漫画文庫、1977年	---	閉架:15004701
『フィチンさん』、あにまる屋、2006年	---	閉架:50000092

虹色のトロツキー			
弘兼憲史・矢島正雄「人間交差点・消えた国」『ビッグコミックオリジナル』、1981年1月5日号、小学館、1981年		歴史の中へ消えていった満州での出来事が現在へと繋がる、「人間交差点」のなかのいちエピソード。	閉架：20008765
パロン吉元『柔侠伝』、中央公論社、1989年		満州はしばしば大陸浪人や馬賊が活躍する冒険譚の舞台としても描かれてきた。	閉架：15006685
山中峯太郎「大東の鐵人」『少年倶楽部』1933年3月号、大日本雄弁会講談社		—	研究閲覧室：50003102
『マンガ研究』20号、日本マンガ学会、2014年		—	事務局在庫
沖縄			
cocoon			
今日マチ、『センネン画報 その2』太田出版、2010年		—	閉架：15022625
今日マチ子『アノネ、』秋田書店、2012年		今日マチ子が『cocoon』に続いて戦争をモチーフとして描いた第2作『アノ	閉架：15021538
木内千鶴子「ああ七島灘に眠る友よ！」『デラックスマーガレット』1975年夏の号、講談社、1975		少女マンガにおいて、戦争は極限状況下のドラマを作り出すための舞台	閉架：20006456
鈴原研一郎「炎のサンゴ礁」『週刊マーガレット』1971年9月12日号、講談社、1971年		装置としても活用されてきた。だが、沖縄戦を描いたものは数少ない。	閉架：20018232
沖縄決戦			
『「沖縄マンガ」展』図録、文化の杜共同企業体、2010年		—	研究閲覧室：50002008
『月刊コミックおきなわ』1987年4月号、コミックおきなわ社、1987年		「スーパーローカルマガジン」を謳う沖縄発のマンガ雑誌『月刊コミックおきなわ』。1990年の休刊まで、新里をはじめ多くの沖縄出身作家たちが作品	なし(未登録)
新里堅進「防衛隊 儀間三郎の場合、『コミックおきなわ』1989年2月号、コミックおきなわ社、1989		を発表した。	なし(未登録)
『別冊コミックおきなわ 同窓会スペシャル』あびい、1999年		—	なし(未登録)
ひめゆりたちの沖縄戦			
与勝海星『弾道 ひめゆり学徒隊物語』那覇出版社、2005		ひめゆり学徒隊の物語は沖縄戦の記憶にこだわる沖縄のマンガ家たちにとって、重要なモチーフである。	閉架：15007204 閉架：15007205
新里堅進『水筒 ひめゆり学徒隊戦記』クリエイティブ21、1995年		—	閉架：15007207 閉架：15007208
祖国への進軍			
梅本さちお「ああ沖縄健児隊」『週刊少年マガジン』1968年2月11日号、講談社、1968年		沖縄健児隊(鉄血勤皇隊)は14歳～16歳の沖縄の少年たちで編成された学徒隊。50年代には沖縄戦の実相に関する書籍が相次いで出版され、人々に衝撃を与えた。	閉架：25013544
『週刊少年マガジン』1997年1月29日号、講談社		—	閉架：25012377
比嘉憑「砂の落日」『ビッグコミックオリジナル 新人増刊号』1993年9月28日号、講談社、1993年		比嘉憑は89年のデビュー以来、『ビッグコミック』のようなメジャー誌上で	閉架：20010925

比嘉 遯「砂の兵士」『ビッグコミック増刊号』1995
年5月8日号、講談社、1995年

貫して故郷の沖縄にこだわった作品
を発表している作家だ。

閉架：20010886